

貢献している
SDGs目標

茶産地育成事業: 2, 8, 12
他事業: 4, 7, 9, 12

活動概要

- 主力事業である緑茶事業などで、「茶畑から茶殻まで」の一貫した生産体制を構築して、SDGsの目標12「持続可能な生産と消費」など、幅広い目標に貢献。
- 特に、①代表的な事業である茶産地育成事業(新産地事業)、②茶殻リサイクルシステム、③健康配慮商品、④厚生労働省認定のティーテイスター社内検定(働きがい向上)、⑤おいお茶新俳句大賞(政府が推進する「beyond 2020プログラムとして認証)、⑥「お茶で日本を美しく。」プロジェクトなどの取組により、「調達から製造・物流、商品企画・開発、営業・販売の一貫体制(バリューチェーン)全体で価値創造をし、SDGsに取り組んでいる。」

SDGs実施指針における実施原則(本アワード評価基準)

普遍性: 茶産地育成事業を九州5県に拡大し、オーストラリアでも展開するなど、普遍性が高く応用可能なビジネスモデル。

包摂性: 茶産地育成事業は、地域での女性活躍・後継者・新規就農者・高齢者の活用など幅広い包摂性を有する。

参画型: 茶産地育成事業では、農業技術部が主体となって、様々なステークホルダーと連携・協力関係を構築。

統合性: 茶産地育成事業では、原料調達コストの低減、環境保全型農業及び地域雇用の創出など経済・環境・社会の要素が統合されている。

透明性と説明責任: 社内において各取組を定期的にチェックし、レポートやホームページでその内容を公開している。

伊藤園は経営理念「お客様第一主義」のもと、総合飲料メーカーとして関係者との協働により「茶畑から茶殻まで」の伊藤園独自の「一貫体制」を構築し、「持続可能な生産と消費」のSDGsビジネスモデルを確立している。

